

SDGsダイアログ ダイアログシート

タイトル

ポストコロナ社会における地域経済（商業・観光分野）の循環

自治体名 熊本県・菊池市
人口 4.946万人
担当部署 政策企画部市長公室、経済部商工観光課

現状・課題

- 新型コロナウイルス感染症の影響によって、菊池市内の宿泊施設からは「例年の約20%しかお客さんが来ない」との声が上がっており、市内飲食店の来客数も減少していることから、商業・観光分野における経済的な影響を受けている。
- 旅館やホテルを含む商店街の活性化および観光客の呼び起こし・イメージ回復に向けて、菊池市独自の施策として、市内の複数事業者が連携して販路拡大等に取り組む際の補助金（最大500万円、補助率は5分の4）を創設する予定。

2030年に向けたビジョン

- 市内事業者と域外企業とのコラボレーションでコロナ前よりも魅力的な観光地へ！ポストコロナ社会においても商業・観光業が潤い、安心して安全に観光客が市内を周遊するまちにしていきたい。そのために、商工会や観光協会などの民間団体が市内だけでなく、域外も含めた様々な企業のテクノロジーやノウハウを取り入れていく。

経済

- コロナ前よりも、観光事業がより持続可能な形に。

環境

- コロナ後の新たな観光様式に合わせた環境整備

社会

- 観光地としての魅力が高まることで、市民の地元への愛着・シビックプライドが生まれる

熊本県菊池市



ダイアログのポイント

- コロナ後の新たな観光の様式に合わせたアイデア、ソリューション
- テクノロジーの新規導入をためらっている中小企業等でも活用しやすいようなソリューション
- 市内事業者と連携し、物産品のデザインや、観光PRの動画撮影など、観光消費額を上げるためのアイデア、ソリューション

SDGsダイアログ ダイアログシート

タイトル

地域の学びと持続可能な社会

自治体名 大分県・日出町

人口 2.852万人

担当部署 生活環境課

現状・課題

- 日出町は、ベッドタウンとして、宅地開発が進んでおり、人口増加対策としては効果を見せている。しかしながら、企業の立地や起業件数は少なく若者の流出は続いている。
- コロナ禍において、地域の存在感が増してきているが、地域ならではの独自性を発見することが難しい。企業とともに日出町らしさとは何かを掘り起こし、地域にある資源・素材の再発見をし、経済や環境、社会問題など複数の課題に取り組むことで、その町らしい地域発展を目指していきたい。

2030年に向けたビジョン

・ 日出町と企業との連携で、新しい仕事が次々生まれる町へ！

日出町には、自動車メーカーとも取引を始めた企業や、ロボット開発の企業も立地している。今後も空港との近接性を活かし、宇宙産業も含め、企業の持つ技術・テクノロジーを取り入れ、若い人たちが興味を持てる仕事を作っていく。そして、地域が自分たちの持つ資源を都市部へ供給する場所ではなく、「もともとあった循環型の暮らし」に気づき、住むことに豊かさを求めて日出町を選んでもらえるようにしていく。

経済

- 企業連携や研究開発機能を拡充することで、若者が興味を持てる仕事を生み出す

環境

- 豊かな自然環境をこれからも維持していく

社会

- 若者が地域に定着する
- テクノロジーを活用し、仕事と暮らしを両立させる

大分県日出町



ダイアログのポイント

- 地域資源の魅力を理解した上で、付加価値を高められるような企業の関わり。特に、研究開発の機能の設置。
- 他にも、外部資金の調達も含めて、企業と地域との共同事業をコーディネートする企業・団体などとの意見交換。

SDGsダイアログ ダイアログシート

タイトル

「Withコロナ・Afterコロナに対応した働き方支援の取組
～子育てしやすいまちづくりを目指して～」

自治体名 福岡県・飯塚市
人口 12.91万人
担当部署 子育て支援政策課、子育て支援課、総合政策課

現状・課題

- 待機児童の解消や子どもの貧困対策など様々な事業を行っているが、保育士確保・離職防止が最重要課題である。
また、自らの子育て等により退職した保育士について、復帰を促したい。
- 外国籍の児童が増えており、通訳などコミュニケーションの壁に直面している。
- Withコロナで在宅勤務が進んでいる中、託児なしでは働けない子育て世帯の状況がより鮮明になったが、今後、市が保育所の新設を進めることは難しく、企業主導型保育施設の活用・推進をしていきたい。

2030年に向けたビジョン

- 保育士の働きやすい環境づくりと子育てしやすい飯塚市へ！**
保育現場においてICTを活用して保育士の働き方改革を徹底的にサポートすることで、保育士の負担を軽減し、人手不足への対応のみならず離職率の低下を図る。
- 企業主導型保育施設の活用で「住み働く」をもっと柔軟に！**
市内に10か所ある企業主導型保育施設の活用・推進をすることで地域の保育需要を満たしながら多様化する子育てに関するニーズに対応し、より柔軟に「住み働く」暮らし方を実現していく。

経済

- 子育て世帯における在宅勤務への対応や女性の復職を促し、経済的な生産性向上と消費活性化を図る

環境

- 公の施設より早期に、かつ柔軟に対応可能な企業主導型の保育施設を活用・推進し、保育環境を地域でシェアする

社会

- 保育士が働きやすい環境整備
- 保育機能充実による市民が働きやすく、子育てしやすい環境整備

福岡県飯塚市



ダイアログのポイント

- 保育士確保・離職防止に向けた、働きやすい職場環境整備を実現するためのソリューション
(マネジメントノウハウのほか、ICT活用・多言語対応含む)
- 企業主導型の保育施設の活用・推進に関して協力いただける企業